

令和5年度史跡井野長割遺跡整備検討委員会議事録

日時：令和6年3月14日（木曜日）13時30分～16時00分

場所：志津コミュニティセンター第2会議室、国史跡井野長割遺跡（現地視察）

○出席者

委員長 山田 昌久
副委員長 山田 康弘
委員 高橋 龍三郎
委員 阿部 昭典
委員 一場 郁夫
委員 巖 由美

○欠席者

委員 田代 順孝

○事務局

（佐倉市教育委員会教育部文化課）

猪股 佳二
松田 富美子
小倉 和重
遠藤 瞳子

○オブザーバー

（千葉県教育庁教育振興部文化財課
指定文化財班）

松浦 誠

○傍聴者

なし

1 あいさつ

2 報告事項

・委員委嘱と委員紹介（資料1参照）

市民委員の公募について結果説明

事務局職員の自己紹介

委嘱状交付と市民委員の自己紹介

・遺跡見学会について

令和5年8月2日（水）午前実施。参加者は80人。

現地視察

○事務局

井野っ子山は立ち枯れが目立つ。危険なので、現在は子供達の立ち入りを禁止している。北側の伐採は教育総務課で実施済み。草刈は文化課で実施済み。木が危ないのに切ってはダメと（住民から）言われている。

落ち葉が樋に落ちたり枝が越境したりしているので、北側の木は伐採した。フェンス際は毎年この時期に草刈りを実施している。ビオトープの方たちが、たまにフェンスの蔓を除去している。

市としては苦情が来る都度対応しているが、目ぼしいものは切ったので今後そんなに苦情はないと思う。

住民からは「南側に標柱を立てたので、その際は北側の標柱は撤去してくれ」

という意見があったので、北側の標柱を井野っ子山の前に移設しようと思う。
井野っ子山も史跡の範囲なので。

○事務局

蔓が木をダメにしてしまう。

○A委員

大分では下に蔓を這わせてかごを作っている。使っていればいい。里山として生きていけばこういうこと（木に絡まること）にならない。使うことを考えた方が良い。

○A委員

保全のためにお金をかけるよりも、活動に使えれば遺跡の価値にもつながる。

○事務局

標柱の移設は、令和6年度に予算要求して7年度に実施する。

○オブザーバー

国許可（現状変更）が必要だ。

○事務局

10年くらい前に（住宅側の高木は）強剪定した。A委員の「バッファゾーンを」という指摘があったので、伐採しないで強剪定した。

○B委員

樹木はずっと伐採していくのか。

○事務局

その点をご意見をいただきたい。もっと間引いた方がいいとか、マウンドの上の木は全部切ってしまうとか。マウンドの上は遺構保護の観点から、倒木の恐れがあるのなら切ってしまった方が良く考えている。

○事務局

中央窪地（広場）の部分公開を考えているが、最終的にはここまで（見学者を）入れたい。M3・M4があるが、M4の裾までを北側の公開範囲と考えている。規制線を張る。M4の向こう（北側）まで（見学者を入れるの）は住民の反対がある。

○A委員

植栽か柵を作るのか？

○事務局

大々的な柵を作るのは景観上いかななものか。ご意見を賜りたい。行くなと言っても行こうと思えば行ける。ここ（中央広場）まで入れればマウンドをすべて見ることができる。

○A委員

進入を規制するにはどうするか。

○事務局

何らかの形で明示する必要がある。そうしないと、進入禁止で取り締まったり

排除したりすることはできない。

○事務局

防犯上、斜面の木を減らして見通しが効くようにしたい。見通しが効くことが抑止になる。鬱蒼としていると向こうから見えないので、課題の一つだ。斜面の見通しを効かせるには予算的には後になってしまう。平坦部は優先的に手入れしていきたい。

○B委員

昆虫採集に来る人と（見学者を）分けるのは難しい。

○事務局

イベント化して子供たちと虫を捕まえるというのはいいのかも。

○B委員

学校教育の場にもなるということ、遺跡だけではないということ（近隣住民に）理解してもらおう。

○C委員

何も壊さないで人を入れないようにするのであれば、膝あたりまで笹を伸ばすのが一番簡単だ。どういうふうにもまく刈るか。マウンドの部分は強調して草を伸ばしておけば視覚的にわかりやすい。

○A委員

笹を伸ばして笹の生垣みたいに意図的にするかどうか。一年生の草が良い。多年生だと根がはびこってくるからマウンドを傷める可能性がある。日本のからむしは1m弱くらいに育つから、からむしゾーンを作ってはどうか。それで縄も作れる。御所野遺跡や真脇遺跡はやっている。からむしベルトを作って、毎年それを採取して皮を繊維として使って縄文原体つくるとか、縄文土器を作る時の縄にする、紐にするとかもできる。からむしは放っておいても問題ない。笹の根をとらないといけないかもしれない。笹は使いようがない。

保守のためだけにお金を使うのではなくて、ここでの活動にかかわるものがあればそれが利用できる。保全のために頑張るのではなく、利用のために頑張るのが良い。

○事務局

ここ（南側エリア）が前段階の公開エリアに考えているところ。ここが第1段階。

○A委員

園路はチップを敷くなどするのか。

○事務局

考えていない。近隣住民は、園路を作ることに反対している。自由に歩けるようにする。自由といっても立ち入り規制の表示はしなければならない。

○A委員

30m弱の樹高になっていて危ない。20mを超えない森にしないと危ない。

○B委員

森林の管理は史跡の保護につながる。

○A委員

この森が怖いと思ってもらいたい。伝えていく必要がある。

○事務局

高さを詰めていかないといけない。

○A委員

森を維持するのは難しいし、危険性を回避することは行政としてもする必要はある。森の専門の人に来て話してもらおうとかして（住民に）理解してもらおう。

○オブザーバー

伐採は現状変更になるが、市の許可で大丈夫だ。

○A委員

縄文の森の密度は、15～20年更新で考えると、1ヘクタールあたり100本以上は濃い。（そうなると）密度が高くて成長が遅い。60、70本が良い。

○事務局

最初に公開したいエリア。道路側が入口になる。体育館の部分に2mの高さの盛土（M5）があった。もう少し先まで見学コースに入れたい。住民の方と詰めていきたい。

○C委員

学校の中の看板（既存の体育館脇の説明板）は、市民に見えるようにここに持ってきてほしい。

○事務局

公開する時は、新しく（こちら側に）立てたい。（個別の）マウンドの説明は考えていない。マウンドは調査していないので情報がない。遺跡全体の説明看板の中で概要を説明したい。

道の説明板はあってもよいと考えている。道の表示をどうするか。チップをまいてわかるようにするのも手かなど。歯医者さんがあるので、あまり際まで歩かないように、体育館のフェンスのあたり（縄文の道を少し超えたあたり）で規制線を張ろうかと考えている。

歩道沿いの木は、危ないということであれば丈を詰めるなり伐採をする。

歩道の植栽帯の中に遺跡の案内標識を立てたい。

○A委員

人がここに来る時には車は止められないか？駅から歩いてくるしかない。

○事務局

駅から20分弱歩く。ほかにバス停がある。タウンバスが走っているので使える。本数は少ないが。

○A委員

ここまで来てもらうのに、駅に何か案内するとか。ここまでどうやって人を呼ぶのか。

○事務局

駅の街区案内図には遺跡が落ちているが、それ以上のものはない。場所は分かりやすい。駅に何らかの工夫は必要かなと思う。

3. 史跡の公開について（資料2・3参照）

～事務局説明～

ロードマップをもとに公開について、段階的に公開していく。同じ図を住民との意見交換時にも住民に提示している。M4の北側まで人を入れるのは勘弁してくれということなので、中央広場までを段階的に公開していこうとスケジュールを立てた。

3期は谷底だが、ここも将来的には見学を考えていたが、大雨が降ると水没してしまうので現状はまだすぐ公開するとは考えていない。

スケジュールと公開の仕方についてご意見をいただきたい。

○D委員

遺跡の案内標識の大きさどれぐらいを考えているか。

ターゲットの年代はどう考えているのか。

○A委員

どういう人に見てもらうか、どう使ってもらうかが見えてない。

○事務局

子供向けというより一般の方、市民が対象だ。通常の遺跡公園として考えている。

○A委員

説明の文章も大人向けか。

○事務局

はい。

○事務局

中高生ぐらいが理解できるようなレベルを考えているが、より分かりやすくQRコード等で対応したい。

○事務局

大きさについては未定だ。パンフレットにあるような全体図・遺跡の概要・文章を入れると、（会議室にある）ホワイトボードぐらいになるかなと。

○A委員

立てて見せるのか、下に置くのか。

○事務局

立てて見せるようにする。草が伸びてきてしまうので、維持管理の観点からも。

○A委員

具体的にどのようにした方が良いという意見はありますか。

○D委員

マウンドの周りに歩道を作っても一般の人にはイメージが湧かないと思う。

XR を用いた解説なども最近主流なので、子供にもわかりやすい。看板の設置以外にも示し方があるはず。

○B委員

黒浜貝塚（埼玉県）のVRなどがある。

○C委員

植生についてある程度先生の説明があったが、大きな木には樹種の説明を付けてもよいのではないか。

マウンドの表記について、マウンド上の木に「M1」などの目印を直接つけてはどうか。

○E委員

案内板の問題と絡めて、遊歩道などの導線がある程度設定しておいた方がよい。これがないと計画を立てられないと思う。近隣住民のかたが、導線そのものの整備まで反対されているとのことだが。

縄文の道を延長させるわけではなく、なんらかの導線がないと指示板の向きも決められないのでは。

○事務局

導線については考えていかななくてはいけないと考えている。真砂土舗装なども考えている。

○オブザーバー

井野長割遺跡の個別の保存活用計画を作成することが求められている。活用計画を制定していない段階で施工してしまうのは少し勇み足であると思う。VR・ARもよいと思うが、段階的に議論していただければと思う。

ルートの設定はしていただきたい。その先は段階的に検討して欲しい。看板やチップなどは後でも変えられるが、車いすの方用にしっかりした園路を作るとそこは固まってしまう。そのあたりのタイミングは、保存活用計画できちんともんでいくという段階を踏むべき。

○B委員

木の伐採は必須の作業であると思います。公開1期、2期のいずれかに入り込むと考えてよろしいでしょうか。

○事務局

公開前に（各エリアの）伐採を行います。

○B委員

公開する前ということですね。それから、地域全体の反対なのか、それとも1軒、2軒の反対なのでしょうか。

○事務局

1軒、2軒というわけではない。

○E委員

これまでの経緯がわからない。断片的な情報しかない。何がどうなったのかを整

理してほしい。

○A委員

今まで（住民から）出た意見について、現状でできることとできないことを踏まえて一度整理して示して欲しい。

○B委員

何をしても反対されるかもしれませんが、文化課が市長部局に移るにあたって、公開を地域住民の反対を押し切ってまで行うべきか考える必要がある。内部で構築していただきたいと思います。

○A委員

市民、来場者に「どういう情報を井野長割遺跡で受け取ってもらうのか」ということを整理する必要がある。中学校の総合学習の時間などに。どういう情報をどういう対象に向けて発信するか、具体的に考えていただくべきなのではないか。

○D委員

史跡の意義・意味を地域住民に理解していただくことが必要だ。

○B委員

地域の方々は、あの森をどのように呼んでいるのでしょうか。遺跡の森って付けたらどうか。「遺跡があって初めて森が生きてくるんだ」ということ。

○A委員

気になったのが、斜面の解説の部分です。なぜここがくびれているのか。湧水点があって、その周りの土地が水によって崩れていった。自然にできる窪みではない。くびれの下に湧水がある。縄文の生活にとっても意味がある。

○事務局

この斜面の解説というのは、トレンチ調査をした結果を説明するつもりだ。

○A委員

もともとなぜここがくびれているのか。縄文人がそこにいろんなものを投棄しているのかもしれない。何か意味があるのかもしれない。

4. 史跡指定 20 周年記念行事について

～事務局説明～（資料4参照）

遺跡のパネル展を夢さくら館のフロアでやりたい。

講演は高橋先生にお願いしたい。ご高齢の方には学術的な話もうけが良い。

子供参加型のワークショップもやりたいが、具体的には決めていない。

縄文服を見学会の時に着せてあげられるような服を作りたい。子供用と大人用と作りたい。加曽利貝塚のボランティアの方に御協力いただけることになった。

○A委員

カラムシを水でさらして糸を作ってやっている場所もある。そこから服を作

るのはなかなか大変だ。縄文人が植物を利用して紐や縄や服を作るということはいい。長野県では釣り糸をカラムシで作って釣りをした。

委員の皆様には項目別に（事務局に）連絡いただいて、ご提案をいただくのがよろしいかと。

○事務局

こちらで内容を具体化してまとめたものをメールいたします。

5. その他

・宮内井戸作遺跡出土品の県指定について

県指定有形文化財の答申がありました。告示は今月中にあります。

一部は県立中央博物館の常設展に展示されていたり、地元の弥富公民館で展示されていたりします。

～事務局説明～（資料5参照）

・令和7年度以降の普及事業に係る予算要求について

～事務局説明～（資料参照*通し番号なし）

異形台付土器、歴博所蔵品だが、レプリカ製作を令和7年度の20周年記念行事に絡めて作りたいと考えている。井野長割遺跡の代表的な遺物なので、レプリカを作って展示したい。

同じ年度ではないが、注口土器もレプリカ製作をしたいと考えている。なかなか本物を外に持ち歩くのも問題なので、借用とかイベントの時に使いたい。

○D委員

レプリカを作成する場合は、重さも実物に合わせてほしい。ハンズオンで使えるように。

○A委員

井野長割遺跡のキャラクターグッズなどに使えないか。

○事務局

異形台付土器は型取りできないので、3D計測で作る。データを取っておけば、キャラクターグッズに転用できる。

○B委員

ガチャガチャにするといい。

○C委員

レプリカの一般販売などもできるとよい。ぬいぐるみなどもよい。

○事務局

ご意見ありがとうございます。考えてみたいと思う。

○オブザーバー

公開するところは、（委員の）みなさん大きく反対があるところはない。今までの議論とその後の市民の方の反対意見とがなかなかわかりづらいところがあるので、そのあたりを市の方でまとめていただいてメールとかで、議事録

とかと併せてお送りいただいてご意見いただけるということによろしいか。

公開はぜひともやっていただきたい。伐採も案を出していただき、樹種とかも進めて欲しい。